

県議会議員

あらい、絹世の「磯っ子」レポート

夢と希望のある神奈川を



<http://www.araikinuyo.jp>

県が「コロナ感染症を踏まえた避難所運営ガイドライン」～複合災害に備えた避難所へ～策定

地震、台風、豪雨による水害やがけ崩れなど災害から人々の安心・安全な生活を守るためには、災害時に設置される避難所が大きな役割を担っています。コロナウイルス感染症の拡大・その影響が心配される今日では、災害時の避難所の運営に当たっても同感染症の影響を踏まえたガイドラインの策定が必要となります。2021年春の国の災害対策基本法の改正で同感染症対策が盛り込まれたのを受けて、各都道府県では災害時の避難所の運営ガイドラインを同感染症を踏まえたものに作り直していますが、神奈川県では2020年6月に示した「新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所運営に係る考え方」に沿い、2020年6月に同感染症を踏まえた避難所の運営ガイドラインを策定しております。これは市町村向けの資料ですが、避難所の運営は市民も参加する運営協議会が当たっており、市民にも周知することが大切で、県のホームページでも公開されています。

同避難所運営ガイドラインは「避難所にいるすべての人が実践すること」「住民への事前通知」「避難所の確保・避難スペースの拡大」「感染症対策物資の備蓄」「入所受付」「避難所全体のレイアウト」「健康な者の滞在スペースのレイアウト」「専用スペースのレイアウト」「基本的な感染症対策の徹底」の9項目から構成されており、それぞれに参考資料が付されています。これには「避難行動判定フロー」「物品支給のレイアウト」「健康チェックシート」「自治・町内会ごとの避難者等把握用紙」「手洗い啓発ポスター」「手作りマスクの作り方」「共用場所の掃除のポイント」「令和2年度の熱中症予防行動」などがきめ細かに示されています。

同ガイドラインで特に運営協議会等の市民に参考になりそうなのは「入所受付」。「入所受付時に検温と健康状態チェックシートにより健康状態を確認し、入所後も定期的に健康状態を確認する」「症状が確認されたものは専用スペースに誘導する」「入所受付時にマスク等を持参していない者への衛生物資支給コーナーを設置する」等が記されており、受付業務の段階から感染症の感染者かそうでない者かの判別が重要になっていることが示唆されています。また「新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は『手洗い』などによる手指衛生の徹底、『咳エチケット』などによる飛沫感染防止」が「基本的な感染症対策の徹底」として挙げられていることも改めて参考になりそうです。「危険な場所にいる人は避難することが原則です」「安全な場所にいる人まで避難所に行く必要はありません」「マスク・消毒液・体温計は不足しています。出来るだけ自ら携行してください」など知っておくべき5つのポイントも示されています。



これが言いたい!

秋は台風や前線の影響で、大雨、洪水、暴風、高潮による自然災害が発生しやすい季節です。災害対策基本法が改正、令和3年5月20日より市町村が発表する避難情報が変わり、従来の「避難勧告」が「避難指示」に統一されました。避難勧告は廃止され、「避難指示（警戒レベル4）」で危険な場所から全員避難しましょう。避難に時間のかかる高齢者や障がいのある方は「高齢者等避難（レベル3）」で早めに避難をしましょう。日頃から水害・土砂災害が起こりやすい場所などを確認し、新型コロナが収束しない中でも危険な場所にいる人は避難することが原則です。



9月21日（火）～9月30日（木）は、「秋の全国交通安全運動週間」です。「子どもと高齢者を始めとする歩行者の安全の確保」「夕暮れ時と夜間の事故防止と歩行者の保護など安全運転意識の向上」などが運動の重点となります。みんなで守って交通事故をゼロにしましょう。

磯子 あれ? これ?

杉田八幡宮(神社) (磯子区杉田)

杉田八幡宮は、永承6(1051)年、源頼義とその子供の義家が奥州(東北)の安部貞任・宗任を討ち、その戦勝の記念と源家の武運長久を祈願して康平6(1063)年に、義家公が創建したと伝えられます。

鎌倉時代後期(1301)年に杉田の地に東漸寺が創建され、いつ頃かはっきりしませんが八幡宮の別当となり、その後神社の隣に末寺の妙観寺ができました。その後、宝延2(1674)年に、領主間宮左衛門信広が社殿を再建し、杉田八幡宮を久良岐郡十二ヶ村の総社に決めました。

明治元(1868)年、神仏分離令が発令され、妙観寺は、当社の別当職を解かれて神社と分離されました。時の僧侶第15代^{き いちいんにちちゅう}帰一院日沖が明治6(1873)年に妙観寺を廃寺し、自らも僧職から離れて神職となり宮司に就任しました。

当社には勝ち守りと言われる御守りがあります。その図柄が星を描いていることから、横浜ベイスターズファンの中で「ベイスターズ守」として必勝を願い参拝の後、お守りを購入するとのこと。

参考:磯子の史話、宮司の話

相談窓口のご案内

9月10日から9月16日は国の定める自殺予防週間です。長期化する新型コロナウイルス禍の影響により、不安やストレスを抱える方が多くなっていることから、令和2年の神奈川県内の自殺者数、自殺死亡率はともに増加しています。

◎「こころの電話相談」

☎0120-821-606 9時から21時(受付は20時45分まで)
※土曜・日曜・祝日・年末年始を除く

◎LINE相談「いのちのほっとライン@かながわ」

月曜日から金曜日・日曜日の17時から22時(受付時間は21時30分まで)
※祝日・休日・12月29日～1月3日除く



あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井(株)/株メタルワン
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 平成31年4月 県議会議員3期目当選
- 産業労働常任委員会委員
- 安全安心特別委員会委員
- 自民党県議団政務調査会筆頭副会長
- かながわ自民党女性議員局長

